

埋めてみませんか？

一緒に

事業の落とし穴



やっと決まった商品名、他社にも同じ名前が...  
 商品のデザインを「模倣だ」と言われてしまった...  
 オリジナルの技術、真似されないか心配...

それ、無料で相談できます。

INPIT 秋田県知財総合支援窓口

INPIT (独立行政法人 工業所有権情報・研修館)  
〒010-8572 秋田県秋田市山王三丁目1-1 秋田県庁第二庁舎2階

まずはお電話ください ☎018-860-5614 秘密厳守

あきた ちざい 秋田 知財



BIGAKITA

540



ビッグあきた Vol.540 2026年6月30日発行 編集・発行/公益財団法人 あきた企業活性化センター 〒010-8572 秋田市山王三丁目1番1号  
TEL.018-860-5603 FAX.018-863-2390 本誌は、賛助会員への配布となっております。購読を希望される場合は、上記までお申し込みください。

元気な企業を応援するビジネスマガジン  
Business Information Center

# BIGAKITA

2026 vol.540 07

【ビッグあきた】  
公益財団法人  
あきた企業活性化センター

## ニーズを分析し 最適な提案を

経営探訪 株式会社 北原紙器製作所 秋田工場



- 04 活用事例 小玉醸造 株式会社
- 05 オンリーワン企業 株式会社 HOKUTO
- 06 秋田のみなさんこんにちは 株式会社 Surpass DIGITAL PATH YUZAWA
- 07 主催事業報告
- 08 秋田県よろず支援拠点の紹介
- 10 お知らせ

SNSでも県内企業の取り組みや  
事業をサポートする情報を発信！



Instagram

Facebook

YouTube



ニーズを分析し  
最適な提案を

資材の寸法に合わせて調整、印刷の出来をチェック。



破損することなく、美しい状態で届くように結束機でまとめる。

上げるという支援が可能となる。価格競争ではない、価値の競争という選択だ。

「世界情勢が不安定な中、原材料費の高騰に多くの業界が悩まされています。こんな時だからこそ、困ったときに相談してもらえたい会社を目指したいですね。」

### 柔軟な人材活用と次世代へ繋ぐものづくり

直近の課題は人材不足だと語る斉藤さん。以前秋田県プロフェッショナル人材戦略拠点に相談して外部の副業人材を活用したことがある。電話による営業でアポイントを獲得する業務をお願いしたが、現在は世界情勢の影響もあり、契約は一旦終了した。

「非常に優秀な方で、多くのアポイントを獲得していただきました。今後も外部人材を活用しつつ、採用においても力を入れていきたい。そして人材育成を行い、技術や経験を継承していきたいと考えています。」

また、活性化センターからの商談会情報も有効に活用している。毎年行われている「あきたモノづくり商談会」のほか、7月に東京・平和島で開催される「青森・秋田・岩手・北海道 合同商談会」にも参加を予定している。現在は鹿角市、花巻市の顧客が多いが、青森での顧客を開拓したいと意気込みを語る。

「ご縁があってこの地に来た以上、やるからには全力で取り組みたい」と語る斉藤さん。若手や次世代を担う人材を育て、技術や経験を繋いでいく。斉藤さんをはじめ、現役社員たちが大切にしている「顧客の製品価値を高めたい」という思いを受け継ぐ次世代が、これからも秋田のものづくりを支えていこう。



カラー印刷、筋入れを行う機械を操作する。

## 株式会社 北原紙器製作所 秋田工場

〒018-5331 鹿角市十和田山根上ノ平1-7  
TEL 0186-35-2013  
FAX 0186-35-2015  
<https://kitaharashiki.com/>

東北営業本部 本部長  
秋田営業部 部長  
斉藤 秀明 (さいとう ひであき)



HP



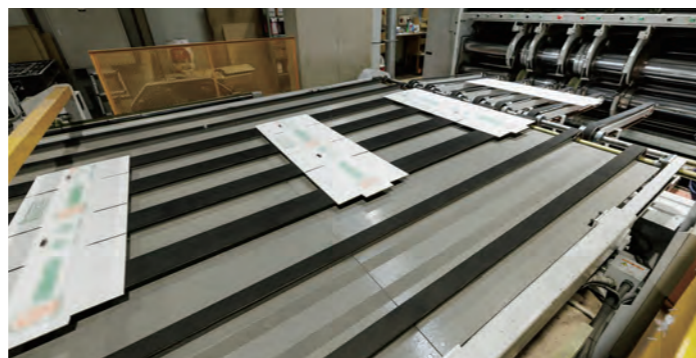
### 秋田県北部の拠点で、北東北の需要を狙う

東京都大田区蒲田で創業し、現在は神奈川県横浜市に本社を構える株式会社北原紙器製作所。同社では、段ボールケースをはじめとする各種梱包資材の製造・加工・販売を手掛けている。東北営業本部本部長兼秋田営業部部長を務める斉藤秀明さんにお話を伺った。

「当社はこれまで大手自動車メーカーや電機メーカーなど、製造業の地方進出に伴走する形で拠点を築いてきました。地元の同業者をM&Aし、4つ目の拠点となったのが鹿角市の秋田工場です。」



自社の中で糊付けや組立も行っている。



幅広い規格の製品にも効率的に対応可能。

山形工場がカバーする秋田市以南に対し、秋田市以北や青森、岩手といった北東北エリアの需要に応える戦略的拠点として2019年に開設された。現在は他拠点の営業を兼務する斉藤さんを含めて10名が在籍している。

### 「小ロット・短納期」と提案力でお客様に寄り添う

秋田工場ではダンボールシートを仕入れ、それを加工している。そのため、小ロット・短納期という機動力を持ち合わせている。原料となるシートを仕入れてからわずか3日で加工・出荷が可能なのは、顧客にとっては非常に重宝されるポイントだ。

「極端な話、1枚からでもご注文いただけますし、実際にそういったお客様もいらっしゃいます。また、私たちはお客様からの発注通りに製造を行うだけでなく、細かくヒアリングしたことをもとに、より良い素材の提案や梱包設計を行えるという強みがあります。長年の経験と商品知識を活かし、適切な強度を持ち、作業効率の良い資材を提案する。それが私たちの特徴です。」

ニーズを読み取り、想像を上回る提案を行う。それは企業としての最大の付加価値だ。それにより、顧客の商品価値を

需要の高まるジャンルで  
自社酵母の新たな魅力を  
引き出す商品を開発



伝統の蔵付き酵母の可能性を押し広げる

味噌・醤油の醸造のみならず、清酒の醸造も行う潟上市の小玉醸造株式会社。長い歴史を紡ぐ秋田を代表する醸造元である。今回、活性化センターの「あきた中小企業みらい応援ファンド」を活用し、自社の「蔵付き酵母」の醸造特性を活かした低アルコール日本酒の開発に挑戦した。

近年、若い世代や女性を中心に低アルコール飲料の需要が高まる中、同社でも新たなラインナップの追加を模索していた。一般的な低アルコール清酒の製法には大きく分けて2つある。醸造途中で発酵を止める方法では、甘みが強くなってしまふ。また、仕込み水を加えて調整する場合は、味わいが損なわれるという課題があった。そこで同社は秋田県総合食品研究センター醸造試験場との共同研究を開始。もともと酸が強めという自社酵母の特徴を活かし、飲み応えと爽やかな口当たりを両立する全く新しい製造方法の開発へと乗り出した。前例のないテーマだったが、これまで何度もトライアンドエラーを繰り返して理想の味わいに近づけていったという。

挑戦を後押しする社風により、新商品が完成

開発を主導した製造部次長の小玉智之さんは、リキュールやジンの開発など革新的な挑戦を続けてきた。今回の低アルコール清酒では、伝統の低温長期熟成によりじっくり発酵させたもろみに酸味付与のため、焼酎用の白麹を用いた甘酒を加えて製造した。それにより、蔵付き酵母の特徴であるバナナのような華やかな香りと、心地よい酸味のバランスがとれた味わいを実現した。

「弊社は女性社員も多いため、試作品ができるたびに評価を繰り返し、意見を反映しながら試験を重ねました。現場からの率直な意見が、開発の大きな助けとなっています。」と語る小玉さん。メインターゲットとなる消費者に近い目線を大切にしながら今回の商品は、まもなく県内の特約店限定で発売される予定だ。今回は試験的な醸造となり全体量は少ないものの、生と火入れの2種類をリリースする。今後も新しいことへの挑戦を続けたいと語る小玉さん。挑戦を諦めない若き感性が、日本酒の枠を広げ、新たなファン層を魅了していくだろう。



取締役 製造部次長 小玉 智之

小玉醸造 株式会社  
〒018-1504  
潟上市飯田川飯塚字飯塚34-1  
TEL:018-877-2100  
FAX:018-877-2104  
<https://www.kodamajozo.co.jp/>



活用事例

あきた中小企業  
みらい応援ファンド

高度技術または新製品の開発等のため県内の大学や公設試験研究機関等と共同で行う研究開発を支援します。

【お問い合わせ】  
新事業・設備支援課  
TEL. 018-860-5702



自社の製造場内で単離した蔵付き酵母。



伝統的な酒造りを大切にする、秋田ならではの「低温長期熟成」を実現する、もろみを発酵させるタンクが並ぶ。



フルーツを使ったリキュールや白樺の樹液を使ったクラフトジンなどは小玉さんが企画に携わった商品だ。

ONLY  
オンリーワン企業

株式会社 HOKUTO

開発から最終製品まで、メンテナンスも見越したモノ造り  
アイデア企業の頼もしいパートナー



いしむら りょうじ  
代表取締役社長 石村 龍二

株式会社 HOKUTO  
〒013-0053  
横手市外目字大谷地14番地1 1F  
TEL:0182-23-6102  
FAX:0182-23-6103  
<https://hokuto-jpn.com/>



HP

アイデアを具現化する、プロセスごと提供する

電子機器の製造受託を主な事業としている株式会社 HOKUTO。横浜事業所で設計し、横手市にある本社兼工場が量産を担当する。代表取締役社長を務める石村龍二さんが大手電機メーカーの下請けを行う製造業での経験を活かし、2012年に創業した。

国内には部品製造のみを行う企業は多数あるが、同社のように最終製品まで一貫して作り上げられる企業は数少ない。この稀有な強みがあるからこそ、アイデアを持っていても、製造を大手企業に断られてしまう「製造難民」となりがちなスタートアップやベンチャー企業の救世主となっている。

手掛けるジャンルは多岐にわたり、これまで病院向けの遠隔操作型IH調理器から、水道管内の老朽化を調べる点検ロボットまで、あらゆる異業種の斬新なアイデアを具現化してきた。最近では中央大学発ベンチャー企業の依頼で、配管のメンテナンスを行うミミズ型ロボットの設計・製造を受託。半導体メーカーからも引き合いがある。

新事業への挑戦と、モノ造りへのこだわり

昨年米沢市に山形工場を設置し、紙おしぼりの製造に特化した工場として新たな事業に乗り出した。数年前「紙おしぼりを温冷する装置を開発してほしい」という依頼で、高級紙おしぼりメーカーとの縁ができたことがきっかけだ。温冷装置だけでなく、自動包装機の開発も行った同社は「将来的には生産ラインを開発してほしい」という顧客からの期待もあり、自社で製造を行うことを決意したという。顧客の課題を「自分ごと」として捉え、より良い製造ライン開発への知見を蓄積する狙いもある。経営面では、受注の波が激しい工業製品だけでなく、継続的な需要が見込める紙おしぼりの製造という「2本目の柱」を得たことになる。

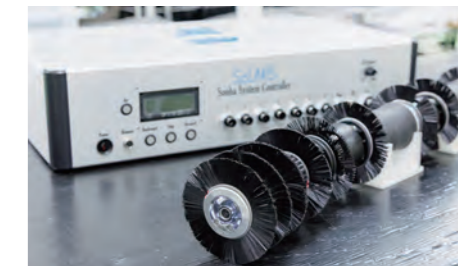
石村社長は「部品製造だけを作っても消費者にとって本当に必要なものが作れたのかはわからない。」と、最終製品まで一貫通貫で作ることにこだわり続ける。エンドユーザーに近い場所で社会に役立つ付加価値を創り出す。そのポリシーが同社の未来を支えている。



柔軟に製造ラインを組むことができるセル方式を採用された工場内。



秋田工場では現在17名の従業員が勤務。



人工筋肉を活用し、配管の点検を行うことができるメンテナンスロボット。

秋田のみなさん こんにちは

2月に開設したDIGITAL PATH YUZAWA。未経験からITスキルを身に付けた女性たちとともに本格稼働を迎えたセンター長・阿部みずきさんに事業内容や今後についてお話を伺った。



女性の力を地域に！  
DX新拠点が始まります



株式会社 Surpass  
DIGITAL PATH YUZAWA

センター長  
あべ  
阿部みずき

〒012-0826  
湯沢市柳町1-2-5  
TEL:050-5865-2792  
https://surpass-star.com/



HP

### 未経験でも技術を習得できる地方拠点

東京都に本社を構え、女性の営業代行アウトソーシング、Salesforce導入・運用支援、女性人材育成を展開する株式会社Surpass。同社は今年2月、湯沢市に新事務所を開設した。そのきっかけとなったのが、湯沢市と同社が実施したDX人材育成事業「ゆざわ TECH WOMAN」だ。センター長を務める阿部みずきさんは、その成果を次のように語る。

「この事業では、クラウド型顧客管理システムSalesforceの導入・サポートを中心にITスキルの習得と資格取得、就労までをサポートするプログラムを実施しました。IT業界未経験の参加者たちは、このプログラムを通じて資格を取得。受講者のうち4名の女性たちは2月に開設されたこの事務所に就き、現在は本社からのサポートを通じて実務経験を積んでいます」。

湯沢市では若者の人口流出を食い止めるため、デジタルスキルを味方にした新たな働き方を提案し、雇用環境を整備したいという思いがあった。一方、地方で女性の就業機会の選択肢が限られている課題を解決するため、TECH WOMAN事業を行ってきた同社。この拠点は、女性が地域に根ざし、持続可能な働き方を創出することを目的に開設されたオフィスなのだ。

### 地域に寄り添い、秋田のDXを牽引する

同社は、秋田県の「企業ネットワーク構築支援事業」を受託している。県内企業の女性活躍の土壌づくりを支援する事業であり、人手不足に悩む企業に寄り添う構えだ。経営者・マネジメント層と女性社員という2つの視点で研修会を実施するもので、今年度も実施予定であり、今後参加企業を募る予定だ。

阿部さんは湯上市出身。前職のIT企業では全国を飛び回っていたが、実家のある秋田へ戻ることを決意した。

「秋田でIT系の企業に就職できるか不安でした。でも、これまでの経験を活かしたかったので、当社に巡り合うことができ、本当に良かったです。走り出したばかりの私たちの直近の課題は、自分たちのスキルアップと認知を広げること。オフィスは大きな窓があり、外からも中が見えます。幅広い人に興味を持っていただければうれしいですね。また、観光地やお店巡りのほか、地域のイベントにも積極的に参加し、深く湯沢と繋がっていきたいと思っています」。

未経験から一歩踏み出した地元の女性たちとともに、湯沢で新たな挑戦を始めた阿部さん。新たな働き方と可能性を押し広げていくことだろう。



通りに面した大きな窓から働く女性たちの姿が見える。



パソコン業務だけでなく、提案力アップのため、定期的に勉強会を開いている。



昨年開催した「女性活躍」は誰のため？秋田の企業と働く人のこれからを考える研修会～秋田県令和7年度企業ネットワーク構築支援事業～の様子。

## 令和8年度 第1回 首都圏・中京圏・東北地区発注等情報報告会

### 新規発注先の確保へ、3地区の発注動向と最新の景況感を報告

あきた企業活性化センターでは、首都圏・中京圏・東北地区に販路開拓アドバイザー及びコーディネーターを設置し、発注企業の情報提供や同行訪問など県内企業の新規発注先の確保に繋がる活動を行っています。令和8年度第1回目の報告会が6月4日に開催され、県内企業41社56名(オンデマンドを含む)が参加しました。各アドバイザーから直近で訪問した各社の景況を含めた報告が行われました。



首都圏担当

にしお あきら  
西尾 朗 (販路開拓アドバイザー)  
日本ビクター株で28年間勤務し、モータ事業部で開発・設計に従事。その他、電子部品・モーターメーカーにて勤務。小型モーターの開発及び海外駐在で培ったキャリアを活かす。

直近の景況感は全体的に横ばいですが、AI投資に伴う半導体製造装置関連や防衛関連が好調です。一方、自動車は海外投資等の影響で国内の伸びが見込めません。最も案件が多い機械や装置分野を中心に取引を拡大するには、コストや品質の徹底はもちろん、客先から選ばれる「自社の強み」の分析と差別化が必須です。対面での定期的な対話で、良好な信頼関係を築きましょう。



首都圏担当

ほっとり ゆきひろ  
服部 幸広 (販路開拓アドバイザー)  
日本ビクター株等で長年営業部長や購買部長を歴任。ミネベアミツミ株では開発資源部長として新規取引先の開拓やサプライヤー評価業務を統括。

今年4月に着任いたしました。長年ものづくりの最前線で「買う側」と「売る側」の両方を経験してきた強みを活かし、採用側の本音を知る立場から、商談の成約率を高めるアドバイスをいたします。金属や樹脂の加工知識を活かした技術の応用提案のほか、東海エリアへの広域マッチングもおまかせください。



東北地区担当

たかはし けんじ  
高橋 憲悦 (販路開拓アドバイザー)  
県内のもづくり企業で28年勤務。製造から工程管理、営業と幅広い分野を経験。当センターの受注マッチング支援スタッフとして多数の企業をマッチング成立へと導いた実績を持つ。

今年1月以降、東北の景気は徐々に回復傾向にあり、特に太平洋側の半導体関連やロボットによる自動化ライン需要が活況です。発注側が求めているのは単なる低コスト化だけでなく、高難度加工や少量多品種への対応力、素早いレスポンスです。この好機に、小規模企業ならではのフットワークを活かし、新規参入のチャンスへ果敢に挑戦していきましょう。



中京圏担当

たかはし けんじ  
高橋 憲悦 (マッチングコーディネーター)  
35年間外資系自動車部品会社で勤務。幅広い設備に知見を持つ。現在は中京圏企業のニーズ収集と情報発信を通じ、県内企業への改善提案や新規取引の促進に取り組む。

現在の自動車産業は、EVシフトの鈍化や急激な増産への即応など、市場の構造変化に伴う一時的な調整局面にあります。発注企業では自動化や調達先分散のニーズが高まっていますが、一社への依存は経営リスクを伴います。既存のコア事業を70%維持しつつ、予算拡大が続く防衛や、航空・宇宙分野へ残りの30%を分散して取引拡大できるように、強固な事業ポートフォリオを形成すべきです。

### 参加者の声



株式会社 白崎製作所

製造部製造課 担当課長 堀口 敦史 さん

当社は東京で金属加工、秋田で樹脂加工をメインに、精密装置の部品供給から素材の提案まで一貫して手掛けています。自分たちで全国の動向を掴むことは困難です。各アドバイザーが発注企業の本音や市場動向を深く掘り下げて報告してくださり、大変有意義な時間でした。アドバイザーやマッチングコーディネーターの皆さんにご相談しながら、関東圏や東海地方など、顧客を全国へ広げていきたいと考えています。

〒018-3301  
北秋田市綴子字前野205-2  
TEL:0186-62-2885  
FAX:0186-62-2895  
https://www.shirasaki-mfg.co.jp/



HP



公益財団法人あきた企業活性化センター

# 秋田県よろず支援拠点

よろず支援拠点は、中小企業・小規模事業者や創業予定者を対象に、国が各都道府県に設置した無料の経営相談所です。創業から事業承継まで全ステージに対応するため、秋田県では知ることによって一歩前に進む「スキル補完コース」、課題を定め実践する「成果創出コース」、将来に向けて経営品質の向上を図る「組織改革コース」の3コースで支援を用意しており、16名の専門コーディネーターが相談に応じております。さらに他の支援機関や外部専門家と連携し、課題解決を全面的にサポートします。



[お問い合わせ先] 秋田県よろず支援拠点 TEL.018-860-5605 HPはこちら→



**チーフコーディネーター**  
**松浦 忠雄**

[専門分野]  
創業支援、経営改善、売上拡大、マーケティング

大手小売業や商業施設デベロッパー等の流通業で約30年、国や県の中小企業支援機関で約20年の企業支援と地域振興支援の実績があります。小売業から製造業まで経営者と一緒に取り組みます。



**ジェネラリストコーディネーター**  
**草薨 達史**

[専門分野]  
事業計画策定、財務改善、WEBマーケティング

WEBマーケティングが専門の中小企業診断士です。大手教育関連企業にて約20年、店舗運営を経てマーケティング・財務の責任者を経験しました。独立後は製造業・建設業・飲食業等の事業者様に、財務改善、WEBマーケティング等、守りと攻めの両面で支援しております。何から始めればよいかを一緒に整理いたします。



**ジェネラリストコーディネーター**  
**小笠原 公法**

[専門分野]  
資金繰り改善、経営知識、事業計画策定

地元銀行を退職後、中小企業活性化協議会事業に従事し多数の案件に取り組んで参りました。この経験を活かし、中小・小規模事業者様と同じ目線に立ち実効ある課題解決に向けアドバイスに努めて参ります。



**ジェネラリストコーディネーター**  
**渡部 信子**

[専門分野]  
人手不足対策・価格交渉・創業支援

経営者に必要なのは、ビジョンを持ち計画を実行する力、顧客視点の技術・ノウハウ、数字を読み解く判断力の3つです。建設・運輸・製造業を中心に、経営力向上を実践的に支援します。



**ジェネラリストコーディネーター**  
**佐藤 茂樹**

[専門分野]  
創業、売上拡大、加工食品開発・販路開拓

金融機関やコンサルタントで様々な事業に関わった経験に基づいて、ジャンルは問わず、創業、売上拡大、販路開拓、資金調達など事業全般のサポートをいたします。創業、食品関連事業のサポートはお任せください。



**ジェネラリストコーディネーター**  
**土田 茂**

[専門分野]  
事業承継、売上拡大、マーケティング

事業承継や自社の強みを活かした経営戦略立案、マーケティング戦略の策定まで、実行につながるご相談を心掛けています。



**ジェネラリストコーディネーター**  
**佐々木 雅樹**

[専門分野]  
ものづくり屋ができる財務分析、事業計画や収益改善計画、経営資本を活かす開発支援やコーディネート

相談者の悩みごとや問題点を良くお聞かせ頂き、経営改善に繋がること、成果に結びつけることを第一に考え、ご支援に取り組んでいます。ものづくりの経験や現場で起る諸所の体験を活かした地味な活動をコツコツとがモットーです。



**ジェネラリストコーディネーター**  
**櫻田 誠二**

[専門分野]  
資金繰り円滑化、経営改善計画策定、事業承継支援

地元金融機関で経営者の課題解決に取り組み、56歳の時に中小企業診断士の資格を取得しました。FP1級技能士及び宅地建物取引士の資格も保有しており、経営だけでなく生活関連等の相談にも応じられることが強みです。



**ジェネラリストコーディネーター**  
**藤嶋 智**

[専門分野]  
事業計画作成、収益改善、6次産業化及び農商工連携

地域資源を活かした新たな事業計画、収益改善の取り組みや資金繰りなど、お気軽にご相談ください。現場に寄り添いながら、実践的な提案を心がけています。皆様の夢の実現に向けて、一緒に歩いていきましょう。



**スペシャリストコーディネーター**  
**富澤 稔**

[専門分野]  
デザイン、広告、ICT、商品企画

デザイン思考と最新技術(広告、ICT、AI)を組み合わせ、あなたの事業のビジョンをカタチにしませんか? 未来を共に創るパートナーとして、目標達成を全力でサポートします。



**スペシャリストコーディネーター**  
**大森 麻美**

[専門分野]  
人材活用・観光(マーケティング戦略、商品造成・販路拡大)

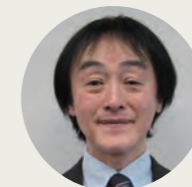
人材活用・観光分野の地域の活性化事業、マーケティング、広報、現場改善といった実務経験を活かし、地域企業の実践的なご支援に共に取り組んでまいります。



**スペシャリストコーディネーター**  
**杉田 和可子**

[専門分野]  
言語化、販売促進戦略、マーケティング

女性ファッション誌からメンズ系雑誌、テレビ台本等、25年以上様々なメディアでマーケティングベースでの執筆を経験してきました。「集客/メディア戦略/コンセプトやキャッチコピー等の言語化/ブランディング/販売促進戦略/Web・SNS活用」を担当しています。



**ジェネラリストコーディネーター**  
**野中 健吾**

[専門分野]  
事業承継・M&A支援、創業支援、新規事業開発支援

秋田県よろず支援拠点を「さまざまな事業者様との新しい出会い」・「自分が理想とする事業者様向け支援の実践」の場にしたいです。約30年の秋田県内金融機関勤務で培った貴重な経験を事業者様の発展に活かします!



**スペシャリストコーディネーター**  
**秋元 英樹**

[専門分野]  
AI活用支援(Google AI Professional)、業務デジタル化、SNS運用

AIやデジタル技術を活用して、皆様の経営課題をともに考え、解決への道筋をサポートします。「AIって何から始めればいい?」「業務をデジタル化したい」など、IT全般の疑問や悩みにわかりやすくお答えします。難しく考えず、一緒に一歩ずつ進んでいきましょう!



**スペシャリストコーディネーター**  
**中野 智恵**

[専門分野]  
SNS・チラシ・デザインを活用した身近な販促支援、海外経験を活かしたIT導入と情報発信の工夫、地域資源・空き家等を活かしたコミュニティづくりと外部連携

タイ在住10年の経験を活かし、ITやSNSを使った発信や県内外・国内外の人との連携、地域資源を生かした販促をサポートします。秋田だからこそできる仕組みを一緒につくります。



**スペシャリストコーディネーター**  
**青木 一幸**

[専門分野]  
IT利活用、DXアドバイザー

「紙とペン」から「デジタルデータの利活用」への業務改善から、大規模な基幹システムの機能改修まで、幅広く秋田県内の中小企業の支援を行っています。現場の最適化を目指し、成長する企業様を積極的にご支援します。

# 地域密着!



## がんばる秋田の企業を応援します!

- 火災共済
- 休業対応応援共済
- 傷害総合保障共済
- ハンドル共済
- 自動車共済
- 労働災害補償共済
- 生命傷害共済
- 医療総合保障共済
- ETCコーポレートカード
- 各種損保商品



### 秋田県火災共済協同組合

秋田市旭北錦町1-47 県商工会館7階  
 TEL 018(864)3320 FAX 018(864)3335  
 URL <https://www.a-kenkasai.or.jp>

令和8年度 秋田県産業技術センター セミナー案内

# IoT 見える化体験会

通年開催・参加費無料

安価で初心者でも取り組みやすいIoTデバイス「M5Stack」を使用し、センサを使った簡易な見える化を体験できます。ご希望に応じて企業での出前研修や現場実装の支援もいたします。開催日程や内容についてお気軽にご相談ください。

- 会場** 秋田県産業技術センター(秋田市新屋町字砂奴奇4-11)  
※1企業で複数名、または団体での受講の場合出前研修も可能です。
- 内容** 約3時間の講義および実習  
【講義】IoTについて、県内の活用事例について  
【実習】ATOM Liteと温湿度センサを用いたセンシング センシングデータの送受信と表示  
※ご要望に応じセンシング内容は変更可能です(電流・光センサなど)
- 対象者** 自社のIoT導入を検討している方
- 定員** 6名/回 (人数は調整しますのでお気軽にご相談ください。)
- 費用** 無料 ※実習用デバイスは当センターより貸出(指定機材購入も可能です。)
- 参加時に必要なもの** 無線LAN接続可能なノートパソコン(Windows)1台/人  
※社内セキュリティ等でソフトウェアのインストールやUSB接続が制限されていないパソコンをご用意ください。

お問合せ 秋田県産業技術センター 先進プロセス開発部 瀬川  
 秋田県秋田市新屋町字砂奴奇4-11 TEL:018-862-3414 FAX:018-865-3949 E-mail:segawa@aitc.pref.akita.jp



- LPガス・灯油の販売
- 天然水宅配サービス
- 発電事業・電気販売
- コインランドリー
- 住宅設備機器販売
- 消火設備機器販売
- オフィス用品通信販売
- 住宅リフォームの提案・施工
- 損害賠償保険業務

## 暮らしにタプラス より快適な暮らしをより安心な毎日を

そこに暮らしがある限り  
**タプラス株式会社**  
 TAPROS CORPORATION  
 代表取締役社長 佐藤寛樹

本社  
 〒011-0901 秋田市寺内字後城322-3  
 TEL 018-845-1141  
 FAX 018-845-5079  
 URL <http://www.tapros.co.jp>  
 E-mail [tapros@tapros.co.jp](mailto:tapros@tapros.co.jp)

# 令和8年度 価格転嫁 専門家派遣事業

あきた企業活性化センターでは、センター登録の価格転嫁に関する専門家を派遣し、適切な価格転嫁の対応に向けた支援を行います。

お問合せ 公益財団法人 あきた企業活性化センター / 総合相談課 〒010-8572 秋田県秋田市山王三丁目1-1  
 TEL:018-860-5610 FAX:018-863-2390 <https://www.bic-akita.or.jp/> あきた企業活性化センター 検索

詳細はこちら



再エネ設備の導入を検討中の県内事業者の皆さんへ

# 太陽光パネルやバイオマスボイラーなどの設置を補助します

申し込みはお早めに!  
**再エネ導入 促進事業費補助金**  
 (物価高騰対策臨時交付金事業)

## 補助概要

補助対象設備 ※電気料金または燃料費の削減が期待できる設備

- ①自家消費型再生エネルギー発電設備 (出力10kW以上)
- ②自家消費目的の電力調整を行うための蓄電池(容量10kWh以上)
- ③自家消費型再生可能エネルギー熱供給設備

## 補助対象経費

再エネ設備や蓄電池、熱供給設備のほか、電力変換装置、配線、キュービクルなどの付属設備、工事費等の設備整備に直接必要な経費。

## 事業期間

交付決定から令和9年2月26日まで  
 ※事前の申請が必要で、期間内に補助金の支払いまで完了すること。

## 補助額・限度額 ( )内が限度額

- ①発電出力 1kWあたり10万円(3,000万円)
- ②容量 1kWhあたり10万円(1,000万円)
- ③熱供給出力 1,000kcal/hあたり6万円(1,000万円)



## 問合せ先

秋田県クリーンエネルギー産業振興課 クリーンエネルギー活用チーム  
 TEL:018-860-2282 E-mail:shigen-ene@pref.akita.lg.jp

他の再エネ設備や地中熱などの供給設置も対象です。詳細と申請はこちらから▶

